

藤波こども園

園長だより

No. 57

令和2年3月18日
文責 竹原 篤



旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園

卒園児の皆さん 保護者の皆様 おめでとうございます。

今年度の卒園式は新型コロナウイルス感染防止のため、少ない人数で短い時間でという指導のもと、式の内容も大きく変わりました。在園児の代表である星組の子どもたちもいない、また、ご来賓の皆さんもおられない中で行います。こども園の先生もホームの先生だけです。本来ならば多くの皆さんに祝っていただく予定でしたが、卒園児の皆さんをはじめ多くの方々の命と健康を一番に考えて卒園式をすることとなりました。私はどんな形であっても、今日こうして卒園式ができることにとても感謝しています。卒園式の式辞の中でお話ししたかったことを書かせていただきます。

卒園していく皆さんへ みんなのよいところはたくさんありますが、特に周りの人を思いやることができるところと、自分の思いをしっかりと表現できるところが素敵です。年中の星組さんや年少の花組さんの子どもたちに対する優しい気持ちはもちろん、仲間同士で話し合ったり、力を合わせたりする姿は本当に素晴らしいと思いました。小学校へ行っても、こども園で仲間と共に学んだことを忘れずに続けていってください。

保護者の皆様へ 思い出してみてください。この子たちが入園した頃のことを。毎日園に行けるだろうか、周りの子と一緒にやっていけるだろうか、泣いて怒ってだだをこねていた姿がたくさん思い浮かぶのではないのでしょうか。今、子どもたちはこんなに大きくなりました。『生まれてきてくれてありがとう。ここまで大きく育ててくれてありがとう。』と親として感謝する気持ちを忘れず、これからも『怒らない、許す、待つ、認める、聞く、信じる』の心で子どもたちを見守ってやってください。いっぱい受け入れてもらった子どもたちは、いっぱい受け入れる力を蓄えています。安心のタンクを満たされた子どもたちは、しんどいときも耐える力があります。周りの子どもたちに対してもやさしく理解を示してくれます。周りの大人たちにいっぱいしてもらったことはそのまま子どもたちが同じようにしてくれています。大丈夫、子どもたちは着実に成長しています。

結びに多くの体験活動を通して学んだこと、特に「優しい心」をもっともっと大きくしていってください。



遊びの中で多くのことを学んでいる姿（絡まった釣り糸を子どもたちの力で直している姿・仲間と共に楽しむ姿・自分の靴だけでなくお友だちの靴も揃えている姿・お友だちの頑張りを静かに優しく見守っている姿・年下の園児さんのモデルとして踊っている姿・友だちとの出会い、別れ、再会を心から望む姿）

